

令和3年度「漁船の安全対策に関する優良な取組に対する表彰」受賞者の決定及び表彰式の開催について

水産庁は、令和3年度「漁船の安全対策に関する優良な取組に対する表彰」の受賞者を決定しました。受賞者の表彰を10月29日（金曜日）に水産庁長官室においてオンライン形式で行いますのでお知らせします。

表彰式は公開でカメラ撮影も可能です。なお、表彰式の最後に記念撮影を行います。

1. 概要

毎年、漁船からの海中転落や船舶の衝突事故等により、多くの漁業者が命を落としており、このような事故を減らすため、ライフジャケット着用率の向上をはじめとした安全対策の推進が求められています。

本表彰制度は、漁船の安全対策に関する優良な取組を行っている漁業関係団体を表彰し、その取組事例を積極的に広報することにより、漁業者の安全に関する意識の向上と取組の推進を促し、重大な事故を減らすことを目的として平成28年度より実施しています。

今年度の表彰式は、昨年度の表彰式が新型コロナウイルス感染症による影響で開催できなかったため、昨年度受賞予定であった団体も併せて表彰いたします。

表彰制度の詳細は添付資料を御覧ください。

（参考：賞の種類と受賞要件）

ゴールド賞	シルバー賞を受賞後、引き続き2年以上にわたり同様の取組を行った団体であって、漁船事故に伴う死者・行方不明者及び漁船事故を伴わない海中転落による死者・行方不明者が通年7年以上発生していない団体。
シルバー賞	ブロンズ賞を受賞後、引き続き2年以上にわたり同様の取組を行った団体であって、漁船事故に伴う死者・行方不明者及び漁船事故を伴わない海中転落による死者・行方不明者が通算5年以上発生していない団体。
ブロンズ賞	ライフジャケット着用義務等漁業者の安全に関する取組を概ね3年以上継続し、かつ、漁船事故に伴う死者・行方不明者及び漁船事故を伴わない海中転落による死者・行方不明者が3年以上発生していない団体。

2. 受賞団体について

ゴールド賞（受賞5団体）

受賞団体名	取組概要
-------	------

ひやま漁業協同組合上ノ国（かみのくに）支所 （北海道）	海難防止パレードへの積極的な参加や救難所職員による救助訓練の実施等を通じ模範となる海難防止活動を実施。
鵜川（むかわ）漁業協同組合厚真（あつま）支所 （北海道）	海難防止パレードへの積極的な参加や救難所職員による救助訓練の実施等を通じ模範となる海難防止活動を実施。
由比港（ゆいこう）漁業協同組合 （静岡県）	ライフジャケット着用の呼びかけや独自のライフジャケットの着用義務付け等を通じ海難防止活動を実施。
大井川港（おおいがわこう）漁業協同組合 （静岡県）	ライフジャケットの購入補助による着用推進や安全操業に関する規約の遵守等を通じ海難防止活動を実施。
いとう漁業協同組合 （静岡県）	各種講習会の開催やライフジャケットを着用した落水訓練の実施等の海難防止活動を実施。

シルバー賞（受賞3団体）

受賞団体名	取組概要
八雲町（やくもちょう）漁業協同組合 （北海道）	定期的な海難防止講習会の実施や救難所職員による救助訓練等を通じ模範となる海難防止活動を実施。
羅臼（らうす）漁業協同組合 （北海道）	海難防止対策委員会の設置、各種講習会・訓練の実施等、安全対策に関する幅広い取組を実施。
田子の浦（たごのうら）漁業協同組合 （静岡県）	海難防止講習会の開催やライフジャケット着用の呼びかけを通じた海難防止活動を実施。

ブロンズ賞（受賞2団体）

受賞団体名	取組概要
余市郡（よいちぐん）漁業協同組合 （北海道）	定期的な海難防止講習会の実施や救難所職員による救助訓練等を通じ模範となる海難防止活動を実施。
沖島（おきしま）漁業協同組合 （滋賀県）	ライフジャケット着用の呼びかけやメーカーによる講習会の開催など安全対策に関する取組を実施。

各受賞者とそれぞれの功績、取組については添付資料「令和3年度 漁船の安全対策に関する優良な取組に対する表彰受賞者」を御覧ください。

3. 表彰式の開催日時及び場所

日時：令和3年10月29日（金曜日）14時00分～15時00分
会場：農林水産省 本館8階 水産庁長官室（ドアNo.851）
所在地：東京都千代田区霞が関1-2-1

4. 報道関係者の皆様へ

取材を希望される方は、10月28日（木曜日）17時00分までに必要事項を以下のお問合せ先まで御連絡ください。当日は会場の都合上、お立ちいただくこととなりますので、御容赦ください。ま

た、オンラインでのご出席も承りますので、必要事項にメールアドレスも併せてお伝えください。

< 必要事項 >

- ・ 氏名
- ・ 所属
- ・ 連絡先（電話）
- ・ （オンラインでご出席される場合）メールアドレス

< 添付資料 >

漁船の安全対策に関する優良な取組に対する表彰について（概要）
令和3年度漁船の安全対策に関する優良な取組に対する表彰受賞者

【お問合せ先】

水産庁漁政部企画課

担当者：鈴木・宇佐見

代表：03-3502-8111（内線6571）

ダイヤルイン：03-6744-2340

漁船の安全対策に関する優良な取組に対する表彰について（概要）

1 趣 旨

毎年、漁船からの海中転落や船舶の衝突事故等により、多くの漁業者が命を落としている。このような事故を減らすために、ライフジャケット着用率の向上をはじめとした安全対策の推進が求められている。

このため、漁船の安全対策に関する優良な取組を行っている漁業関係団体を表彰し、実践事例を積極的に広報することにより、漁業者の安全に関する意識の向上と取組の推進を促し、重大な事故を減らすことを目的とする。

2 被表彰者

表彰の対象となる者は、全国の漁業協同組合等のうち、安全に関する優良な取組を行っているものとする。

3 推薦の基準

全国漁業協同組合連合会は、次に掲げる基準により、被表彰者の候補者の推薦を行う。ただし、過去に同じ種類の表彰を受けた団体は除く。

（1）ブロンズ賞

ライフジャケット着用義務等漁業者の安全に関する取組を概ね3年以上継続し、かつ、漁船事故に伴う死者・行方不明者及び漁船事故を伴わない海中転落による死者・行方不明者が3年以上発生していない団体

（2）シルバー賞

（1）に掲げる者のうち、ブロンズ賞を受賞後、引き続き2年以上にわたり同様の取組を行った団体であって、漁船事故に伴う死者・行方不明者及び漁船事故を伴わない海中転落による死者・行方不明者が通算5年以上発生していないもの

（3）ゴールド賞

（2）に掲げる者のうち、シルバー賞を受賞後、引き続き2年以上にわたり同様の取組を行った団体であって、漁船事故に伴う死者・行方不明者及び漁船事故を伴わない海中転落による死者・行方不明者が通算7年以上発生していないもの

4 被表彰者の決定

水産庁長官は、3により推薦のあった者について、5に定める選考委員会における審査を経た上で、被表彰者を決定する。

5 選考委員会

選考委員会は、次に掲げる者をもって構成する。

会長 水産庁次長

委員 水産庁漁政部漁政課長

水産庁漁政部企画課長

水産庁漁政部漁政課課長補佐（人事班担当）

6 表彰の方法

表彰は、水産庁長官が感謝状を授与して行う。

7 表彰者数

表彰者数は、表彰の種類ごとに次のとおりとする。

（1）ブロンズ賞 7団体以内

（2）シルバー賞 5団体以内

（3）ゴールド賞 3団体以内

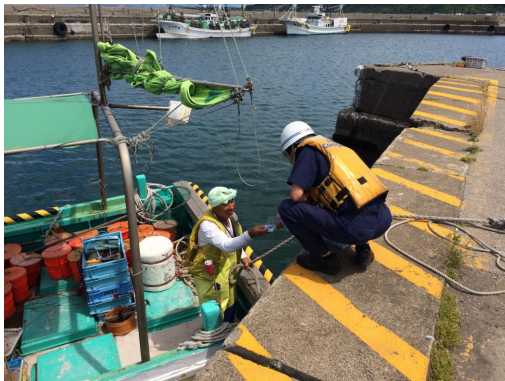
8 表彰の時期

表彰は、毎年度1回、10月の「全国漁船安全操業推進月間」の期間中に、関係団体等の協力を得て、水産庁において行うものとする。

9 被表彰者等の公表

水産庁は、被表彰者の概要、実績、具体的な取組等を取りまとめ、広く関係団体等に配布するとともに、ホームページ等に掲載するものとする。

令和3年度 漁船の安全対策に関する優良な取組に対する表彰受賞者

表彰の種類	ゴールド賞				
受賞者	ひやま漁業協同組合 上ノ国支所 (北海道)	組合長名	工藤 幸博	推薦者	(公社)北海道海難防 止・水難救済センター
取組の概要	海難防止パレードへの積極的な参加や救難所職員による救助訓練の実施等を通じ模範となる海難防止活動を実施。				
功 績 事 項					
1 功績	漁船事故や海中転落による死者・行方不明者が37年2ヶ月間発生していない(令和3年9月現在)。				
2 取組内容	1. 海難防止対策委員会の設置 2. 海難防止講習会の設置 3. 海難防止パレードへの積極的な参加 4. 上ノ国救難所による毎年の救助訓練 5. 青い羽根募金活動への自販機の設置 6. 町との連携で防災訓練の実施 漁業者の安全に関する取組を37年2ヶ月間継続して実施している。				
3 推薦理由	平成6年に上ノ国漁協と檜山地区の全漁協が合併したため、上ノ国支所として海難防止活動を継続して行ってきた。現在まで37年間事故死ゼロは道内で最も長い記録として注目されている。また、広く地域住民に海難の恐ろしさと人命の大切さを訴えるための海難防止パレードへの積極的な参加や上ノ国救難所職員による救助訓練を長年に亘って実施する等、道内漁協において模範となる海難防止活動を実施している。				
4 取組状況	  海難防止パレード(訪船指導)の様子 海難防止パレードの様子				

令和3年度 漁船の安全対策に関する優良な取組に対する表彰受賞者

表彰の種類	ゴールド賞				
受賞者	鵠川漁業協同組合 厚真支所 (北海道)	組合長名	小谷地 好輝	推薦者	(公社)北海道海難防 止・水難救済センター
取組の概要	海難防止パレードへの積極的な参加や救難所職員による救助訓練の実施等を通じ模範となる海難防止活動を実施。				
功 績 事 項					
1 功績	漁船事故や海中転落による死者・行方不明者が37年2ヶ月間発生していない(令和3年9月現在)。				
2 取組内容	1. 海難防止対策委員会の設置 2. 海難防止講習会の開催 3. 海難防止パレードへの積極的な参加 4. 浜厚真救難所による毎年の救助訓練 5. 青い羽根募金活動の自動販売機の設置 6. 町と連携した防災訓練の実施 漁業者の安全に関する取組を37年2ヶ月間継続して実施している。				
3 推薦理由	平成10年に厚真漁業協同組合と鵠川漁業協同組合が合併し鵠川漁業協同組合厚真支所として海難防止活動を継続。通算して37年間事故死ゼロを継続しており、道内で最も長い記録として注目されている。また、広く地域住民に海難の恐ろしさと人命の大切さを訴えるための海難防止パレードへの積極的な参加や浜厚真救難所職員による救助訓練を長年に亘って実施する等、道内漁協において模範となる海難防止活動を実施している。				
4 取組状況	 海難事故死ゼロ10,000日達成表彰式 事故死ゼロ10,000日達成の様子  海難救助訓練の様子				

令和3年度 漁船の安全対策に関する優良な取組に対する表彰受賞者

表彰の種類	ゴールド賞				
受賞者	由比港漁業協同組合 (静岡県)	組合長名	宮原 淳一	推薦者	静岡県漁業協同組合 連合会
取組の概要	ライフジャケット着用の呼びかけや独自のライフジャケットの着用義務付け等を通じ海難防止活動を実施。				
功 績 事 項					
1 功績	漁船事故や海中転落による死者・行方不明者が12年11ヶ月間発生していない(令和3年9月現在)。				
2 取組内容	1. ライフガードレディースによるライフジャケット着用の呼びかけ 2. 全ての乗組員に対しライフジャケットを配布して出港から入港まで着用を義務付け 漁業者の安全に関する取組を12年11ヶ月間継続して実施している。				
3 推薦理由	由比港漁業協同組合は、平成20年より漁協女性部員に対してライフガードレディースを委嘱して、ライフジャケットの着用を呼びかけるとともに、桜えび・しらす船曳網及び定置網漁業の全ての乗組員に対して、ライフジャケットを配布して出港から入港まで着用の義務付けを行い、積極的に安全操業に係る活動を実施している。				
4 取組状況	 海難防止講習会の様子				

令和3年度 漁船の安全対策に関する優良な取組に対する表彰受賞者

表彰の種類	ゴールド賞				
受賞者	大井川港漁業協同組合 (静岡県)	組合長名	村松 清幸	推薦者	静岡県漁業協同組合 連合会
取組の概要	ライフジャケットの購入補助による着用推進や安全操業に関する規約の遵守等を通じ海難防止活動を実施。				
功 績 事 項					
1 功績	漁船事故や海中転落による死者・行方不明者が11年3ヶ月間発生していない(令和3年9月現在)。				
2 取組内容	1. ライフガードレディースによるライフジャケット着用の呼びかけ 2. ライフジャケットの購入補助による着用推進 3. 安全操業に関する規約の遵守について漁業者に周知徹底 漁業者の安全に関する取組を11年3ヶ月間継続して実施している。				
3 推薦理由	大井川港漁業協同組合は、平成22年より漁協女性部員に対してライフガードレディースを委嘱して、ライフジャケットの着用を呼びかけるとともに、ライフジャケットの購入補助による着用推進を図っている。また、静岡県桜えび漁業組合が策定した安全操業に関する規約の遵守について漁業者に周知徹底し、積極的に安全操業に係る活動を実施している。				
4 取組状況	 着用推進活動の様子				

令和3年度 漁船の安全対策に関する優良な取組に対する表彰受賞者

表彰の種類	ゴールド賞				
受賞者	いとう漁業協同組合 (静岡県)	組合長名	高田 充朗	推薦者	静岡県漁業協同組合 連合会
取組の概要	各種講習会の開催やライフジャケットを着用した落水訓練の実施等の海難防止活動を実施				
功 績 事 項					
1 功績	漁船事故や海中転落による死者・行方不明者が11年間発生していない(令和3年9月現在)。				
2 取組内容	1. 海難防止講習会及びAEDの講習会の開催 2. 漁業カイゼン講習会の開催 3. ライフジャケットを着用した落水訓練等の開催や漁協独自の補助によるライフジャケットの購入補助による着用推進 漁業者の安全に関する取組を11年間継続して実施している。				
3 推薦理由	いとう漁業協同組合は、漁船海難防止講習会や漁業カイゼン講習会を開催するなど、積極的に漁業者の安全確保の取組を行っており、11年にわたり、事故死ゼロを継続している。これらの取組により、組合員に対する安全対策に係る認識を高めており、県内漁業協同組合の中でも模範となる海難防止活動を実施している。				
4 取組状況	 漁業カイゼン講習会受講風景  ライフジャケット着脱訓練の様子				

令和3年度 漁船の安全対策に関する優良な取組に対する表彰受賞者

表彰の種類	シルバー賞				
受賞者	八雲町漁業協同組合 (北海道)	組合長名	掛川 正春	推薦者	(公社)北海道海難防 止・水難救済センター
取組の概要	定期的な海難防止講習会の実施や救難所職員による救助訓練等を通じ模範となる海難防止活動を実施。				
功 績 事 項					
1 功績	漁船事故や海中転落による死者・行方不明者が10年6ヶ月間発生していない(令和3年9月現在)。				
2 取組内容	1. 海難防止対策委員会の設置 2. 海難防止パレードへの積極的な参加 3. 海難防止講習会の開催 4. 地域住民に対する海難防止啓発 5. 八雲救難所による救助訓練 6. 全組合員ヘライフジャケットの配布 漁業者の安全に関する取組を37年2ヶ月継続して実施している。				
3 推薦理由	八雲町漁協は、平成23年3月に発生した漁船の転覆事故による行方不明海難を機に、毎年定期的に海難防止講習会の実施するとともに、全組合員にライフジャケットを配布して着用の徹底に努めている。また、広く地域住民に海難の恐ろしさと人命の大切さを訴えるための海難防止パレードへの積極的な参加や八雲救難所職員による救助訓練を長年に亘って実施する等、道内漁協において模範となる海難防止活動を実施している。				
4 取組状況	 訪船活動の様子  海難防止訓練の様子				

令和3年度 漁船の安全対策に関する優良な取組に対する表彰受賞者

表彰の種類	シルバー賞				
受賞者	羅臼漁業協同組合 (北海道)	組合長名	萬谷 昭洋	推薦者	(公社)北海道海難防 止・水難救済センター
取組の概要	海難防止対策委員会の設置、各種講習会・訓練の実施等、安全対策に関する幅広い取組を実施				
功 績 事 項					
1 功績	漁船事故や海中転落による死者・行方不明者が10年9ヶ月間発生していない(令和3年9月現在)。				
2 取組内容	1. 海難防止対策委員会の設置(平成7年) 2. 合同訪船指導の実施(対策委員会主催、海保、振興局、自治体、漁船保険、海防センター等) 3. 海難防止広報啓発 4. 海難防止講習会の開催(実技・座学) 5. 羅臼救難所による救助訓練 6. 高校生(水産教室:水産関係就労予定者)に対する実技体験(救命いかだ、ライフジャケット浮遊体験、CPR等)の実施 漁業者の安全に関する取組を37年2ヶ月継続して実施している。				
3 推薦理由	羅臼漁協は、知床半島南東側に位置し、根室海峡の豊富な水産資源に恵まれ、数多く漁業を行っており、以前は死亡、行方不明を伴う事故が数多く発生していた。平成7年「海難防止対策委員会」の設置後、地道な活動が実を結び、事故の数も減り、今日現在では、海難事故死ゼロ3,900日以上を数える。また、広く地域住民に海難の恐ろしさと人命の大切さを訴える広報啓発、漁業者への訪船指導、いざという時のために備え、救難所の充実した救助訓練など長年に亘って実施するなど道内漁協の中でも模範となる海難防止活動を実施している。				
4 取組状況	  羅臼救難所訓練の様子 羅臼高校での水産教室の様子				

令和3年度 漁船の安全対策に関する優良な取組に対する表彰受賞者

表彰の種類	シルバー賞				
受賞者	田子の浦漁業協同組合 (静岡県)	組合長名	志村 正人	推薦者	静岡県漁業協同組合 連合会
取組の概要	海難防止講習会の開催やライフジャケット着用の呼びかけを通じた海難防止活動を実施				
功 績 事 項					
1 功績	漁船事故や海中転落による死者・行方不明者が7年4ヶ月間発生していない(令和3年9月現在)。				
2 取組内容	1. 海難防止講習会の開催 2. 漁業協同組合の女性部員にライフガードレディースを委嘱し、ライフジャケット着用を推進 漁業者の安全に関する取組を7年4ヶ月継続して実施している。				
3 推薦理由	田子の浦漁業協同組合は、令和元年度以降、ライフガードレディースを委嘱し、主力のしらす船曳船の漁業者へライフジャケット着用を呼びかけたほか、海難防止講習会を実施し、安全対策に係る認識を高めていることなど、県内漁業協同組合の中でも模範となる海難防止活動を実施している。				
4 取組状況	  ライフガードレディース委嘱式の様子 心肺蘇生法訓練の様子				

令和3年度 漁船の安全対策に関する優良な取組に対する表彰受賞者

表彰の種類	ブロンズ賞				
受賞者	余市郡漁業協同組合 (北海道)	組合長名	篠谷 誠	推薦者	(公社)北海道海難防 止・水難救済センター
取組の概要	定期的な海難防止講習会の実施や救難所職員による救助訓練等を通じ模範となる海難防止活 動を実施。				
功 績 事 項					
1 功績	漁船事故や海中転落による死者・行方不明者が21年11ヶ月間発生していない(令和3年9月現 在)。				
2 取組内容	1. 海難防止対策委員会の設置(昭和41年3月6日) 2. 海難防止パレードへの積極的な参加 3. 海難防止講習会の開催 4. 地域住民に対する海難防止啓発 5. 余市救難所による毎年の活動 6. 全組合員ヘライフジャケットの配布 漁業者の安全に関する取組を37年2ヶ月継続して実施している。				
3 推薦理由	余市郡漁協は、北海道の西部、積丹(しゃこたん)半島の東の付け根に位置し、北海道の中でも 指折りの温暖な気候で、各種漁業が盛んに行われている。当漁協では、安全対策について早くか ら海難防止対策委員会を設置し、ライフジャケットの着用の徹底を図るなど、地道な活動が実を結 び、事故の数も減り、今日現在では、海難事故死ゼロ7,600日以上を数える。また、レジャーの盛 んな地域の一つであるため、広く地域住民に海難の恐ろしさと人命の大切さを訴える広報啓発、 いざという時のために備え、救難所の充実した救助訓練など長年に亘って実施し、道内漁協の中 でも模範となる海難防止活動を実施している。				
4 取組状況	 CPR(心肺蘇生法)、AED等の実技講習  余市救難所による消火訓練				

令和3年度 漁船の安全対策に関する優良な取組に対する表彰受賞者

表彰の種類	ブロンズ賞				
受賞者	沖島漁業協同組合 (滋賀県)	組合長名	奥村 繁	推薦者	滋賀県漁業協同組合 連合会
取組の概要	ライフジャケット着用の呼びかけやメーカーによる講習会の開催など安全対策に関する取組を実施。				
功 績 事 項					
1 功績	漁船事故や海中転落による死者・行方不明者が27年6ヶ月間発生していない(令和3年9月現在)。				
2 取組内容	1. ライフジャケット着用義務化前から組合員に対しライフジャケットの着用の呼びかけ 2. 購買事業でのライフジャケットを取り扱い 3. メーカーによるライフジャケットの点検や講習会など安全対策に関する取組を実施 漁業者の安全に関する取組を15年7ヶ月継続して実施している。				
3 推薦理由	沖島漁協は県下最大の漁協であり、組合員も多く、常にライフジャケット着用を呼び掛け、組合員が操業しやすい型のライフジャケットの着用を心掛け、メーカーによる講習会に参加するなど、安全対策に関する意識が高い。				
4 取組状況	 メーカーによるライフジャケット講習会  メーカーによるライフジャケット点検				